

災害支援ナース活動報告書

報告者：堀川 美津枝

所属施設：新潟県立吉田病院

報告月日：令和 6年 2月 12日

活動日	1月30日(火) ~ 2月1日(木)	
活動場所	施設名 いしかわ総合スポーツセンター	
活動内容	<p>2/1(木)日勤 メインアリーナ、Dリーダー</p> <p>11:40 いしかわ総合スポーツセンター着</p> <p>12:30 オリエンテーション</p> <p>13:30 仮眠</p> <p>16:20 夜勤オリエンテーション</p> <p>16:30~夜勤 1/31(水)9:00 まで</p> <p>16:30 申し送り</p> <p>要観察者のバイタル測定 コロナ陽性者と同テント内利用者 保健師から頭痛訴える利用者の観察依頼あり、バイタル症状観察</p> <p>18:00 転倒者あり、バイタル症状観察の結果、外観上問題なく、立位歩行可の為、経過観察となる→明日ベットをフレームベットにする事を申し送る。</p> <p>18:30 配薬服薬確認</p> <p>19:00 本日発熱で入所した者のバイタル、症状観察→コロナ後だが呼吸器症状なし。右下肢の熱感腫脹強い。明日診察予定となる。</p> <p>22:00 消灯。眠前薬確認</p> <p>22:45 転倒者あり。外傷なく歩行可</p> <p>1/31(水)6:30~8:30 食事、内服確認、申し送り</p>	<p>2/2(金)日勤 メインアリーナ、Dリーダー</p> <p>8:30 全体ミーティング</p> <p>8:40 申し送り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処方薬の残数確認→保管場所の統一がなく、個人のバックに保有している人もいて、確認に時間がかかる。カレンダー管理困難者の管理方法検討→保健師と情報共有、薬剤師にも依頼しカレンダーの再セットをする。</li> <li>食事量と排便の有無を確認し、排便コントロールのアセスメント、下剤投与を申し送る。</li> </ul> <p>14:00 発熱者、要観察者のバイタル測定、症状確認。</p> <p>16:00 ワークシートのパソコン入力</p> <p>16:30 申し送り</p> <p>17:00 終了</p>
		<p>8:40 申し送り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車中泊 18日の利用者が外出希望あり 状態観察後手続き依頼する。</li> <li>退所希望者の手続き、相談</li> <li>保健師と要観察者の情報共有</li> </ul> <p>14:00 新支援ナースへのオリエンテーション</p> <p>14:30 申し送り</p> <p>15:00 終了</p>

## 所 感

- ・指示命令系統—全体の初エンターション後統括リーダー、県リーダー、日勤リーダー、夜勤リーダーを決定し、活動に必要なチームビルディングを形成し進めることができた。
  - ・初めて一緒に仕事をするメンバーでの支援活動であったが、共通の目標があるため、良好なコミュニケーションが図れた事に安心できモチベーションを高く保持できた 5 日間でした。
- ・多職種連携—DMAT、JRAT、JWAT、保健師、薬剤師、介護チーム等と連携する必要性を認識しました。薬剤管理について、保管場所、投与方法、確認について情報共有と統一を図ることに時間を要しました。
- ・感染管理—PPE は整備されていました。必要数が多く、感染予防策と感染アセスメント環境衛生の継続が必要です。高齢者と認知症の方への留意必要。

新潟県看護協会 e-mail : saigai-shien@niigata-kango.com